

事業番号	事務事業名	中学生海外体験事業	所管課名	生涯学習課	令和 2 年度課長名	黒瀬 豊
06061	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名	生涯学習係	担当者・シート作成者	ソーター・クリストフ
	施策名	33 青少年の健全育成	根拠法令等	2006年12月12日締結中学生海外交流協定書 鏡野町中学生海外体験事業実施要綱・同推進委員会会則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生がシンガポールに5日間程度体験研修(ホームステイ、現地の中学生との交流)する事業。</li> <li>参加者には研修を6回、報告会を1回実施している。</li> <li>当該年度の実施要綱の作成、募集、審査、参加者決定、事前研修、事後研修、報告会を行い、報告書を作成。</li> <li>平成30年より改めてメイフラワー校と1日の交流ができ、更にもう一校(ヴィクトリーライフ校)との交流も継続。</li> <li>R1とR2は新型コロナウイルス感染症の影響で事業が中止となった。</li> </ul>	旧奥津町でのシンガポールとの交流・旧鏡野町でのスイスとの交流と派遣から、合併時に中学生の海外体験事業として創設 2006年(平成18年)12月12日 中学生海外交流協定をメイフラワー校と締結

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 参加者	ア 参加者数	人	見込 実績	24 23	24 24	24 0	24	24
イ 町内の中学生	イ 町内の中学校生徒数	人	見込 実績	308 308	313 313	313 313	313	313
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 国際感覚を身につける	ア 外国に対する考え方が変わったと答えた参加者数	人	目標 実績 達成率	24 20 83.3%	24 22 91.7%	24 0 0.0%	24	24
イ	イ 国際感覚が身についたと答えた保護者数	人	目標 実績 達成率	24 19 79.2%	24 22 91.7%	24 0 0.0%	24	24
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 推進委員会の開催	ア 推進委員会開催回数	回	目標 実績 達成率	4 4 100.0%	4 4 100.0%	4 1 25.0%	4	4
イ 研修の開催	イ 研修の開催回数	回	目標 実績 達成率	7 7 100.0%	7 7 100.0%	7 0 0.0%	6	6
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計	款 10 教育費	項 06 社会教育費	目 01 社会教育総務費	大事業 25 中事業 01	予算上の事業名	事業番号																		
						中学生海外体験事業	06061																		
予算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比	決算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比												
国庫支出金							国庫支出金																		
県支出金							県支出金																		
町債							町債																		
その他特財	1,250	3,250		3,250	3,250	-3,250	その他特財	1,200	1,250		3,250	3,250	-1,250												
一般財源	6,539	6,917	63	5,150	5,150	-6,854	一般財源	6,378	8,791	21	5,150	5,150	-8,770												
合計	7,789	10,167	63	8,400	8,400	-10,104	合計(A)	7,578	10,041	21	8,400	8,400	-10,020												
財源名称	従事正職員人数								1	1	1	1	1												
	延べ業務事務時間								250	250	10	250	250	-240											
	人件費計(千円)(B)								846	875	33	838	838	-842											
最終予算額		63 千円		予算執行率		33.3%		トータルコスト(A+B)		8,424		10,916		54		9,238		9,238		-10,862					
主な支出事業内容(予算)	報償金						55 千円						主な支出事業内容(決算)	報償金						17 千円					
	通信運搬費						4 千円							通信運搬費						4 千円					

事業番号	06061	事務事業名	中学生海外体験事業	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	-----------	------	-------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
旧奥津町は2年生全員をシンガポールへ、旧鏡野町は2年生20人をスイスへ派遣していた。合併後、17年度はスイス、18年度よりシンガポールへ派遣。派遣事業は、23年度より町内中学生全員を対象。受入事業はホームステイと中学校等で交流。協定校の事業縮小により、受入は24・26年度の隔年実施で終了。派遣のみ毎年継続。31年度は参加者が24名。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
貴重な体験となるよう、積極的に取り組める研修を提供。教材や報告会、報告書など、手作りでコスト削減を図っている。協定校との交流が困難となったため、交流方法を改善し、ホームステイの経験も中心とし、事業の継続を図っている。30年度より改めてメイフラワー校に訪問でき、さらに新たな学校とも交流継続。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
参加者の多くが成果を感じている。保護者もわが子の成長を感じており、わが子を通じて外国を身近に感じている。ホームステイも有意義に過ごすことができ、達成感を感じている。小学生とその保護者からも、参加希望の声があり、継続が期待されている。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	鏡野町として、町の財産である子供たち(中学生)に、海外体験事業を提供することは有意義な事であり、総合計画の政策体系にも「創造性豊かな教育・文化の里づくり」の理念に結び付いている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	町の未来を担う中学生に対して、人材育成を目的とした投資でもあるので、公費投入は妥当である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	H23年度から中学生全学年を対象とし、個々が参加機会を選択できるように見直すとともに、津山中学に通う町民生徒についても事業参加の対象としている。協定校がなく、毎年応募者が大幅に超過するような状況になれば、対象学年を見直す余地はあるが、現在の状況であれば適切と考えている。意図についても人材育成といった観点から適切である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	現状として、ある程度の応募者があり、順調に事業自体は推進できている。生徒に今すぐの成果を期待する事業ではないが、研修でより一層、生徒に気づきを与え出発させることにより、さらに達成感を感じられるよう工夫している。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	町として、中学生を対象とした唯一の海外体験事業であり、事業廃止となれば、鏡野町に暮らす中学生に対して事業提供の機会が失われてしまうことから影響がある。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	一定の成果を上げているが、生徒の選考方法、事前研修のあり方など改善できる部分はあると考える。また、協定校との新たな交流方法、新たな学校との協定の可能性を検討する大きな課題が発生している。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	町としては必要最小限の事業費で行なっている状況と、参加者に対して負担金を要綱で定め、限度額まで徴収していることから、今以上に事業費削減はできない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	職員が兼務で資料作成、現地との調整等、参加者に対する研修などを行っており、これ以上の削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	対象は町内の中学生全員としており、公平・公正である。平成18年度から参加者負担を5万円から4万円としたが、協力校がなく経費増大により、27年度から5万円に戻した。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	R2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった。H31年度は参加者が理想的な人数(24名)だった。担当課、引率者との情報共有を図り、事前研修で生徒の一体感を作り出すことができ、個々を大切に集団として、事業実施できた。参加者、保護者の事後アンケートから、達成感があり、適切である。2回目ヴィクトリーライフ校を訪問し、今後も訪問できるという話になっている。ホームステイが3泊となり、体験内容の有意義な一部になった。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
派遣事業実施をする中で、受入実施も視野に入れ、中学校との調整・協議が必要であるが、やはり学校ではなく町の行事であるとの感覚が強い。主たる目的は、鏡野町内の生徒の成長を第一の主眼としていることから、町も学校も一丸で取り組むことが大切である。相手校とともに貴重な体験事業の成果を分かち合え、お互いに高めあい、生徒に魅力ある事業にする必要がある。協力校の確保には、相手校の来町時にホストの確保と学校での積極的な交流が必須条件となるため、協力体制の確立が必要。																									